桜が岡

瓊浦高等学校
学校通信
第　５２　号

平成28年12月22日発行
電話　095-826-1261
FAX　095-820-5245

瓊浦の窓

「　日本一を狙える学校へと　」

主幹　　中村　淳

学校に続く長い坂道を登ってくる生徒の息も白くなり、北風が一段と身にしみる季節となりました。第６８回生の３年生は卒業まであと２ヶ月あまりです。すでに進路が決定し、一息ついている者もいれば、入試に向けて夜遅くまで最後の力を振り絞って取り組んでいる者もいます。卒業する全ての生徒が、新天地でも「瓊浦生」としての誇りを持って活躍して欲しいと願っています。

さて、平成２８年もあと少しとなりましたが、どのような年だったでしょうか。先日、２０１６年「今年の漢字」が発表されました。その文字は「金」。なるほど、リオオリンピックに沸いた今年を象徴する「金メダル」？または「マイナス金利」の金(かね)？なのでしょうか。しかし、金には縁のない私が選んだ一文字は「初」です。何故かというと「マイナス金利政策」も日本初、史上初のイギリスＥＵ離脱、初めての女性都知事、日本人初の再生回数世界一になった「ＰＰＡＰ」、また「１８歳選挙権」など初めてづくしが多いと感じたからです。

本校においても、情報ビジネス科（山口さん、橋浦さん、溝田さん）「うまいもん甲子園」の九州大会において初優勝、全国大会に初出場し、そして結果はなんと準優勝に特別賞のダブル受賞でした。またパテントコンテストでは卒業生（高崎さん）が瓊浦初「特許権取得」の快挙を果たしました。そして今年も先輩に続いて情報ビジネス科（杉本くん）が優秀賞を受賞しています。

スポーツでの活躍は今年度も高総体から国体においても顕著でしたが、生徒たちの「企画力」で戦い、全国で評価されたことは、瓊浦のイメージを大きく変えたと言っても過言ではありません。これは「文武両道」「日本一を狙える学校」への大きな一歩となるのではないでしょうか。これからの取り組みにも期待しています。

最後に「うまいもん甲子園」で地元の食材を使うという規定をあえて破り、熊本復興のために「熊本産トマト」を使用した３人の「勇気」と「思いやり」に、心からの賛辞を送りたいと思います。

第５回ご当地！絶品うまいもん甲子園全国大会　準優勝おめでとう★

「これまでの取り組みについて」

情報ビジネス科長　　阿部泰宣

情報ビジネス科は平成26年度より独立行政法人 工業所有権情報・研修館（INPIT）が主催する「知的財産に関する創造力・実践力・活用力開発事業」に参加しています。初年度より知的財産に関する基礎的な知識を学ぶと同時に、商品開発等の創造的、実践的活動を通じて知財マインド（創造や創作を大切にするマインド）を醸成することを目標に掲げ、活動を進めてきました。今年度で3年目となる事業展開の中で商品開発、販売実習、パテントコンテストへの応募、他県知財教育先進校との交流等に積極的に取り組んできました。ここまでの成果として本校オリジナルスイーツの開発、県内外での販売実習の実施、パテントコンテストでの入賞と特許権取得を達成することができました。今年度は商品開発の一貫として取り組んだ農林水産省主催「第5回ご当地！絶品うまいもん甲子園」において全国大会準優勝、その副賞として２月からの九州地区ファミリーマートでの商品化と販売の権利（商品名：ウドリア）を得ることができました。

情報ビジネス科は検定試験での上級資格取得へのチャレンジ、商品開発等に代表される生徒の実践的な学習との２本柱を重視して授業を展開しています。資格取得の面では国家試験（通産省・ITﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ）や日商簿記検定（２級・３級）にチャレンジし合格する生徒が出てきています。また、今年度よりＭＯＳ（マイクロオフィス スペシャリスト）検定への挑戦と様々な試みを実施しています。難易度の高い資格にも積極的に挑戦する生徒が増えてきていることも喜ばしいことです。

年々充実してきた活動の中で生徒達がどのように変化したのかを考えてみると、目標とする検定の資格取得を成し遂げる達成感、商品開発やパテントコンテストで自分達の企画が採用された瞬間の喜びや商品化に向けての各選考会での明暗。目標設定を行いそこに到達するために努力する過程と一定の評価が出るというサイクルをする経験することで今後の人生に通じる大切な要素を獲得しているように感じます。何人かの卒業生に話を聞くと「失敗を恐れずチャレンジする気持ちを大切にするようになった。」「人前に出ても物怖じしなくなった。」「感謝の気持ちを感じる。ステップアップできるのは誰かの協力があるから。」等、前向きな言葉が返ってきます。卒業後、学校での学びを発展させてくれている様子が目に浮かびます。

生徒達が壁を破り、次のステージへ進んで行く姿を目にする事は私達の喜びでもあります。本校のキャッチコピーに表現される「原石諸君」の言葉の通り、生徒達の潜在能力の高さを感じずにはいられません。大いなる力を秘めた本校生徒の可能性が地域社会を、長崎県を、そして日本を照らすまばゆい光となることを願い、今後も充実した活動を展開していきたいと思います。

【 水球日本代表選手来校 】

１２月１３日（火）本校にリオオリンピック男子水球代表の選手４名が来校されました。これは、オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の一環としておこなわれたものです。まず、水泳部顧問の荒木先生との対談形式で、オリンピック出場をつかんだ戦術のこと、オリンピックを目指すきっかけ、普段の食事量、海外遠征時で苦労したことなどをお話いただきました。次に、パスやシュートの実演を見せていただき、生徒たちはオリンピック選手の技術に驚いていたようです。特に、運動部で日々活動に打ち込む生徒にとっては、よい刺激になったのではないでしょうか。原口翔多君のお礼の言葉にもあったように、それぞれがこれからの練習・試合に活かしてほしいと思います。

【 全国高等学校英語ボキャブラリー選手権大会 】

１２月１０日（土）長崎外国語大学でおこなわれた大会に、龍馬コース普通科１年Ａ組の山﨑俊輔君・村川航海君・真辺麟太朗君の３名が出場しました。

惜しくも予選リーグで敗退したものの、彼らの表情を見ていると次年度への可能性を感じさせてくれる大会となりました。

村川君は、「可能性は感じたが、今のままでは来年のコンテストで勝てない。３人とも次の英検２級、６月のＧＴＥＣでの６００点超え、対外模試での偏差値６０超えが必要だと感じた。３人で、クラスで、切磋琢磨して頑張っていきたい。来年は優勝します！」と力強く語ってくれました。

歳末たすけあい募金活動

１２月７日、浜の町アーケードにおいて、生徒会役員を中心に歳末助け合い募金の街頭募金活動を行いました。歳末助け合い募金活動は、本校で毎年実施されており、多くの生徒の皆さん、先生方から協力を頂いています。頂いた募金は、共同募金会を通じて、長崎県内の高齢者や障害を持った方々の支援等に用いられています。この日は、冬の寒空のもと、約１時間半の活動でしたが、６３,１８５円の募金を集めることが出来ました。ご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

【 部活動成績 】

○ハンドボール部

平成２８年度長崎県高等学校新人体育大会

男子	準優勝
女子	第３位

第１０回学校法人岩永学園こころ医療福祉専門学校旗長崎県高等学校男女ハンドボール選手権大会

男子	優　勝
女子	準優勝

○柔道部

平成２８年度長崎県高等学校新人体育大会

男子団体		第３位
男子個人		
６０kg級	内野　栄（機２Ｂ）	第３位
６６kg級	丸尾比優馬（普２Ｄ）	第２位
１００kg級	菅　健裕（機２Ｃ）	第３位
女子個人		
７０kg級	平田純菜（情１Ｂ）	第３位

○陸上部

第６８回長崎県高等学校駅伝競走大会　第３位

○バドミントン部

第１５回日本バドミントンジュニアグランプリ２０１６

男子団体（都道府県対抗）　第３位

原口　翔多（龍普３Ａ）・村本　竜馬（普２Ｃ）・辻　凌也（龍普２Ｂ）

人権教育集会

１２月７日（水）午後、２名の講師の先生をお招きし、人権教育を実施しました。１・２年生は「対等な関係をつくるために」と題して、ＤＶ防止長崎の悦晴美先生にデートＤＶについてお話いただきました。３年生の龍馬コースは荒木壽美先生の「あたまじゃわかっているんだが」と題した講演、その他のクラスは「もしも友達がLGBTだったら」というＤＶＤを鑑賞し、それぞれ人権についての理解を深めました。

《主な行事》 1月

１０日（火）始業式・容儀指導
１１日（水）卒業考査時間割発表（３年）
１３日（金）センター出陣式（３年）
１４日（土）センター試験（～１５日）
１６日（月）推薦入試（自宅学習）
１８日（水）卒業考査（１９・２４・２５日）
２０日（金）一次入試（自宅学習）（～２３日）
２４日（火）第３回実力考査（１・２年）
２９日（日）全商情報処理検定